

指示語・つなぎ言葉をえらぼう

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 文章アを よんで、「これ」が指す内容を1つえらびましょう。

筆者は 早起きも 日記も 続けてきたが、何より 大切に している ことは これだ。分からない ことは、その日のうちに 調べる。

- 1 分からないことを人に聞くこと
- 2 朝早く起きる習慣を続けること
- 3 その日の日記を毎日書くこと
- 4 分からないことをすぐ調べること

2 文章イを よんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

この 液体は 温めると 色が 変わり、冷やすと 元にもどった。（ ）、色の 変化は 温度に よると 考えられる。

- 1 むしろ
- 2 たとえば
- 3 したがって
- 4 ところが

3 文章ウを よんで、「この後者の変化」が指す内容を1つえらびましょう。

機械の 発達で、工場の 仕事は 速く 正確に なった。一方で、人が 自分の 手で 物を作る 機会 は 減った。筆者が 心配しているのは、この 後者の 変化である。

- 1 工場で働く人が増えたこと
- 2 手で物を作る機会が減ったこと
- 3 仕事が速く正確になったこと
- 4 工場で機械が発達したこと

4 文章エを よんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

インターネットは 調べものに とても 便利だ。（ ）、のっている 情報が いつも 正しいとは かぎらない。

- 1 とはいえ
- 2 たとえば
- 3 つまり
- 4 したがって

指示語・つなぎ言葉をえらぼう【こたえ】

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

「これだ。」の後ろの文が中身を示しています。「これ」は分からないことをその日のうちに調べることです。

2 答え：3

実験の結果から結論を導いているので『したがって』です。

3 答え：2

「後者」は二つ挙げたうちの後のほうです。手で物を作る機会が減ったことを指します。

4 答え：1

便利だと認めたうえで、気をつける点を述べているので『とはいえ』です。

読み取るコツ

指示語は、前の文や段落の内容、ときには後ろの文を指します。後ろの説明に合うものをえらびます。

接続語は、順接・逆接・言いかえ・理由・付け足しを見分けます。

指示語・つなぎ言葉をえらぼう

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 文章アをよんで、「このしくみ」が指す内容を1つえらびましょう。

植物は根から吸った水を葉から出す。地上の水は蒸発して雲になり、雨となってもどる。地下水は何年もかけてしみ出し、わき水になる。名水とよばれるわき水がすんで冷たいのは、このしくみのためだ。

- 1 地上の水が蒸発して雨としてもどること
- 2 地下水が長い年月をかけてわき出すこと
- 3 植物が根から吸った水を葉から出すこと
- 4 雲が風に運ばれて遠くへ雨をふらせること

2 文章イをよんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

失敗ははずかしいことではない。（ ）、次に生かせる大切な材料だ。

- 1 したがって
- 2 たとえば
- 3 ところが
- 4 むしろ

3 文章ウをよんで、「それ」が指すものを1つえらびましょう。

祭りや工芸、方言、食文化は、どれも長い年月をかけて受けつがれてきた。中でもそれは、目に見えず書き残すのもむずかしいため、話す人がいなくなると消えてしまう。

- 1 方言
- 2 食文化
- 3 祭り
- 4 工芸

4 文章エをよんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

この生き物は群れで行動し、えさを分け合い、敵が来ると知らせ合う。（ ）、仲間と協力して生きる動物だといえる。

- 1 なぜなら
- 2 たとえば
- 3 つまり
- 4 しかし

指示語・つなぎ言葉をえらぼう【こたえ】

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：2

名水は「わき水」です。直前の文の、地下水が何年もかけてしみ出してわき水になるしくみを指します。

2 答え：4

「～ではない」を受けて、それよりこちらだと述べているので『むしろ』です。

3 答え：1

話す人がいなくなると消えるのは方言です。「それ」は方言を指します。

4 答え：3

前に挙げたことをまとめて言いかえているので『つまり』です。

読み取るコツ

指示語は、前の文や段落の内容、ときには後ろの文を指します。後ろの説明に合うものをえらびます。

接続語は、順接・逆接・言いかえ・理由・付け足しを見分けます。

指示語・つなぎ言葉をえらぼう

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 文章アをよんで、「それ」が指す内容を1つえらびましょう。

言葉は人を はげますことも、きずつけることも できる。筆者は、友人の 何気ない 一言で 落ちこみ、別の 友人の 一言で 立ち直った 経験から、それを 学んだという。

1 言葉には気持ちを伝える力があること

2 別の友人の一言で立ち直ったこと

3 友人の何気ない一言で落ちこんだこと

4 言葉が人をはげましもきずつけもすること

2 文章イをよんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

この 地域では 米づくりが さかんだ。（ ）、豊かな 水と 広い 平地に めぐまれているからだ。

1 むしろ

2 なぜなら

3 とはいえ

4 したがって

3 文章ウをよんで、「その ならわし」が指す内容を1つえらびましょう。

筆者の 祖父は、毎朝 新聞の 社説を 書き写していた。字を 上手に するためではなく、筋道の 通った 文の 組み立てを 覚える ためだったという。筆者も 中学生の ころから その ならわしを まねている。

1 毎朝新聞を声に出して読むこと

2 文の組み立てを先生に習うこと

3 毎朝新聞の社説を書き写すこと

4 字を上手に書く練習をすること

4 文章エをよんで、（ ）に入る言葉を1つえらびましょう。

新しい 駅が できて、通学の 時間が 短く なった。（ ）、駅前には 図書館も 建てられた。

1 さらに

2 とはいえ

3 むしろ

4 なぜなら

指示語・つなぎ言葉をえらぼう【こたえ】

小6／指示語が指す内容・（ ）に入る接続語をえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

落ちこんだ経験と立ち直った経験の両方から学んだのは、前の文の『言葉は人をはげましもきずつけもする』ということです。

2 答え：2

後ろの文が「～からだ」と理由を述べているので『なぜなら』です。

3 答え：3

祖父が毎朝していたのは、新聞の社説を書き写すことです。「そのならわし」はそれを指します。

4 答え：1

よくなったことに、もう一つ付け加えているので『さらに』です。

読み取るコツ

指示語は、前の文や段落の内容、ときには後ろの文を指します。後ろの説明に合うものをえらびます。

接続語は、順接・逆接・言いかえ・理由・付け足しを見分けます。